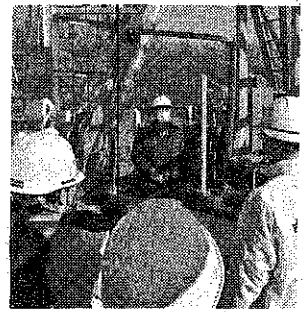


島田さん（奥）の説明に耳を傾ける生徒



エネルギー産業の 現状や課題学ぶ

白糠高校生4施設訪問

【白糠】白糠高校（田村信明校長）の2年生14人が西原路コミュニティセンタ

ー（白糠石炭資料室）、掘削技術専門学校、白糠バイオマス発電所、ユーラス白糠ソーラーパークの4施設を訪問し、町内のエネルギー産業の現状や課題などについて学んだ。総合的な探究の時間の一環で、12日に実施した。

このうち専門学校では講師の島田邦明さんが国内のガス田や地熱発電の概要、掘削方法などを解説。

「掘削は地下利用や調査などで社会生活に欠かせない技術。見えない地下の状況を想定しながら掘っていくのが難しく面白い」と述べた。生徒は敷地内に設置さ

れた掘削機も見学し、構造などについて説明を受けた。

隈元柚菜さん（2年）は「掘削について全く知らなかったので、驚くことばかりだった。たくさん学べて良かった」と話していた。

（水谷友路）